

錦糸町わくわく通信

2019.07
第28号

●お問合せ●
東都よみうり新聞社
TEL.03-6663-9010



第38回 すみだ錦糸町 河内音頭大盆踊り

【主催】 錦糸町河内音頭実行委員会、錦糸町商店街振興組合江東橋連合町会
【日時】 2019年8月28日(水)・29日(木) 午後5時30分～9時30分
【会場】 豊川親水公園特設会場(首都高速7号線高架下)

独自の進化を遂げる錦糸町河内音頭。今年も暑い2日間がやってくる！
本番までに踊れるようになりたい人向けに練習会も開催(詳細はHP
へ)。錦糸町パルコ内のタ
ワーレコードには「河内音
頭コーナー」も！

【問い合わせ】

info2@kinshicho-kawachiondo.jp



第10回 すみだストリートジャズフェスティバル

【主催】 すみだストリートジャズフェスティバル実行委員会

【日時】 8月16日(金)お昼～午後9時30分※トリフォニーホールのみ
8月17日(土)・18日(日)午前10時～午後8時

【会場】 錦糸公園(メイン会場)ほか約45ステージ、全会場無料

駅前や公園の特設ステージに加えて銭湯やバス車内も演奏会場に！
北斎通りのパレード、音楽関連のワークショップなども開かれる。「第2回
すみだストリートジャズフェスティバルin曳舟」も17日、18日に開催。9月
には東武線「とうきょうスカイツリー」駅発のジャズトレインが運行する。

【問い合わせ】 band2019@sumida-jazz.jp



錦糸町で夏を遊べ

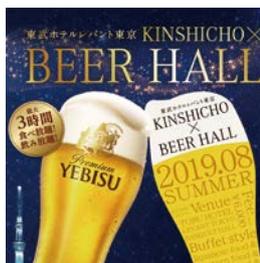


◎「亀戸天神例祭」

【開催日】 8月24日(土)・25日(日)

学問の神様として親しまれる菅原道真公を
祀る亀戸天神社。今年は陰祭りにあたり、
錦糸町エリアも含む両国から亀戸までの
氏子による25基の神輿が町内を練り歩く。
※日程は各町会で異なる。

例：江東橋三丁目丸井神酒所13:00
町内巡回出発



◎東武ホテルレバント東京「ビアホール」

【開催日】 8月5日(月)、6日(火)、9日(金)、13日(火)～16日(金)、
20日(火)、21日(水)、26日(月)～29日(木)

【時間】 午後6時～9時(最終入場8時30分) **【会場】** 4階 大宴会場 錦
飲み放題&ビュッフェスタイルによる日本料理・西洋料理・中国料理、
デザートを楽しむ。 **【料金】** 大人1人 6,000円(税・サービス料込み)。

【問い合わせ】 東武ホテルレバント東京 販売促進部セールス課
TEL.03-5611-5623(直通)

◎テルミナグルメスタンプラリー

【期間】 8月1日(木)～8月31日(土)(配布期間: 8/1(木)～8/18(日))
テルミナ、テルミナ2の飲食店を対象に、1会計500円以上で1スタ
ンプを押印。異なるショップ3店舗のスタンプを集めると、次回会計時に
300円の食事券として使える。

【問い合わせ】 TEL.03-3633-1111



◎7・8月 フウガドールすみだホームゲーム情報



★7月20日(土)午後5時～
(対戦相手)
立川・府中アスレティックFC
★8月16日(金)午後7時30分～
(対戦相手)ポアルース長野
会場：墨田区総合体育館
チケット情報はフウガドールすみだ
ホームページへ。
<http://www.fuga-futsal.com/>



【新日本フィルハーモニー交響楽団】

「すみだサマーコンサート2019」

【日時】7月27日(土)午後2時開演

【会場】すみだトリフォニーホール

【曲目】「ロメオとジュリエット」組曲。
日本大学第一中学・高等学校
演劇部とのコラボレーションに
よるオーケストラと演劇が融合
した新しいプログラム!

【チケット】一般4000円、65歳以上お
よび墨田区在住、在勤、在学
3000円、高校生割引で2000円、小・中学生1000円

【問い合わせ】新日本フィルチケットボックス TEL03-5610-3815



【楽天地】みんなでつくるてがたアート! 楽天地カラフルツリー



【日時】7月20日(土)・21日(日)
午前11時～午後7時

【会場】楽天地ビル1階正面広場
手のひらに絵の具をつけて、み
んなで大きなキャンバスにス
タンプ。ツリーを完成させよう!
参加無料。

※衣服に絵の具がつくと完全
に落ちない場合もあります。

【問い合わせ】東京楽天地
TEL03-3631-3130

錦糸町の

語り部たち

町の重鎮に聞く土地の記憶

第2回(後編)



廣田 達夫さん(76)

(廣田硝子株式会社代表取締役
有限会社ヒロダグラスクラフト社長)

※このコーナーでは昭和から平成にかけて錦糸
町の変化を見てきた町の重鎮の方々に思い
出を語ってもらいます。前回に引き続き廣田
硝子株式会社・廣田達夫さんのお話です。

——生まれも育ちも錦糸町とのことですが、小さい頃の思い出を
教えてください。

廣田: 神田にあった菓子業界が昭和の始めに強制疎開で浅草、錦糸
町に移ってきたことで、錦糸2～4丁目、太平2～4丁目の9割近く
が菓子に関わる会社でした。近所では飴玉、金太郎飴、きな粉
玉、金平糖、マロンなどを小さな町工場が作っていました。友達
と遊ぶ時でも家で作るお菓子を「少し持ってきてよ」と言っても
らったものです(笑)当時の廣田硝子店でも飴玉や菓子用の瓶を
沢山扱っていました。その幾つかは、かつて販売していたガラス
のコレクションとして今も当社資料室に残っています。

——錦糸町駅の北口地域は現在までに大きく変わってきたと思
います。まちの様子で記憶していることはありますか。

廣田: 錦糸町の北側広場には千葉方面から走っている貨物列車の引
き込み線があり、四つ目通りにあった踏切を抜けて現在の東武ホ
テル付近に列車が入ってきていました。線路より北側には掘割が
あり、全国から集まる材木の貯木場になっていました。1949年の
キティ台風の影響で貯木場が決壊した時は、一晩のうちに水が
上がって洪水になり、自宅の引き戸が外れ浸水し、店で展示して
いたガラス瓶がぶかぶか浮いていた様子を覚えています。雨戸
を手練り寄せて縄で結び、いかに代わりをして避難したり遊んで
いました。

錦糸小2年の時には皆で両手に桜の苗木をもって錦糸公園に
植樹に行ったことを覚えています。当時は公園といっても植木がほ
とんどなく、砂利だらけの広場にブランコやジャングルジムがあるぐ
らいでした。現在植

えられている桜の木
が当時の桜の生き
残りかはっきりしま
せんが、春になると
毎年「錦糸公園桜
まつり」が開かれて
多くの人が花見を
楽しんでいることは
うれしく思います。
(2019年3月5日取材)

